

みなさんおはようございます。今から、修了式の講話を始めます。

3年生が、3月1日に卒業し、残ったみなさん、1，2年生で約1ヶ月間過ごしました。この期間は、それぞれ、新しい2年、3年生になるための準備期間という位置づけで、各学年の先生方に指導をお願いしました。どうだったでしょうか？そして、皆さんは、4月になれば、それぞれ新しい後輩ができますよ。

さて、去年の4月、始業式では、皆さんに4つお願いという題で話しました。1つめは、学力の向上に励むこと。2つめは、基本的生活習慣の確立、3つめは自分の目標に向かい、毎日地道に努力を継続すること。最後が、支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れないこと、でした。覚えていますでしょうか。

先日、西園小学校の卒業式に出席する機会がありました。卒業生の名簿と抱負（中学校での目標）が書いたものが配られ、それを見ました。それには、「私は中学校で頑張りたいことは勉強です。」「私は中学校に入ったら、勉強に力を入れたいと思います。」「私が中学校で頑張りたいことは、勉強と部活です。」と。32名の卒業生、表現が少し違いますが、全ての生徒が、中学校で頑張りたいことは、勉強と書いてありました。きっと、皆さんも同じことを書いたり思ったりしていたのではないのでしょうか。

さて、皆さん、今の気持ちはどうでしょうか。もちろん、頑張っている方もいますが、頑張れるという気持ちが冷めてしまった人、もう一度、その気持ちに戻って、努力をしてみませんか。小学校卒業の時よりは、要領や方法は、今の方がよくわかっていると思います。もちろん、勉強を頑張るには、目標を持

って頑張ってください。

1年間、八戸西高にいて、クラスや部活動などでの居心地はどうでしょうか。良いでしょうか。嫌な雰囲気になってないかな。朝の爽やかな挨拶から始まり、周りの雰囲気が良くなり、自分たちが普段使っている場所を掃除し、時間を守ることで、信用を得ることに繋がり、信頼関係ができて、その後の人間関係が円滑になる。掃除、挨拶、5分前を守る行動で、そういった環境になる。一人一人が気をつけて、続けることで生活する環境、居場所は良くなります。それは、それほど大きなことではありません。それでも、それらをきちんとやり続けることで、生活環境や居場所は良くなると思います。

今、皆さんは、目標がありますか。そして、その目標に向かって努力をしていますか。目標がないという人は、例えば、なりたい自分、将来やりたいこと、等 目標にしたらどうでしょうか。そして、その目標に向かって努力を続けていくことで、目標を達成するために、やがてチャンスが訪れます。努力という準備をしていないと、チャンスが来たときにそれを掴むことができない。もしかしたら、チャンスが訪れていることさえわからない。そうなってしまっってはもったいないですよ。

「チャンスの神様には前髪しかない」は、ヨーロッパに伝わることわざで、チャンスは通り過ぎてから追いかけてもつかまえることができないという意味です。このことわざの由来は、ギリシャ神話に登場する「カイロス」という神様とされています。カイロスは「機会（チャンス）」を意味し、前髪が長く後頭部が禿げているという特徴があります。高速で移動するため、なかなかつかまえることができない神として知られています。

「チャンスの神様には前髪しかない」ということわざの教訓は、チャンスが来た時にしっかりと捉えないと逃してしまうということです。

皆さんは学生なので、一生懸命学習に部活動やボランティア活動等に、または、趣味や好きなことに取り組んでいると思います。そこには、きっと、応援してくれる方々がいます。それが、おじちゃんおばあちゃん、父、母、兄弟、親戚、先生、友達などなど。きちんと努力、生活をしていれば、応援してくれる人は必ずいます。そんな人たちは、見守ったり手を差し伸べたりしてくれるのではないのでしょうか。そういった方々への感謝を忘れないで下さい。感謝の気持ちを思うだけでなく、「有り難う」という言葉で感謝を伝えましょう。有り難うは、「有ることが難しい」という意味で、めったにないことや貴重であることを指します。貴重な出来事に対しての感謝の言葉となり、現在は一般的なお礼の言葉として使われるようになりました。自分の高校時代の国語の先生が、授業中教えていただいたことが思い出されます。

最後に、できる、やれる、伸びる、幸せだ、楽しい、などの前向き言葉を毎日の生活でできるだけ多く使って、生活できるようになればいいなあと思います。きっと、皆さんの高校生活も良いものになると思います。

明日から、短い期間ですが「春休み」です。新しい自分を迎える仕切りとなる時期です。新たな気持ちで、八戸西高校の51年目の歴史をともに作りましょう。必ず元気な姿で4月7日に会いましょう。

校長 坪 宏至